

そこで兄弟たち。堅く立って、私たちのことば、手紙によ って、教えられた言い伝えを守りなさい。 Ⅱテモテ2:15

2015(27)年 週 報

9月13日
第2聖日
第3421号

「御霊の一致を保つ」

聖
言

謙遜と柔和の限りを尽くし寛容をしめし、愛をもって互いに忍び合い、平和のきずなで結ばれて御霊の一致を熱心に保ちなさい。エペソ4:2, 3

礼拝の恵み 第二一章
第八節 礼拝の障害(つづき)
第八節 ゆるそうとしない精神
パウロの言葉はどの信者の心にも特別の力で訴えるであろう。「無慈悲、憤り、怒り、叫び、そして、それらなどを、いつさいの悪意とともに、みな捨て去りなさい。お互いに親切にし、心の優しい人となり、神がキリストにおいてあなたを赦してください。」「エペソ四ノ三、三二」。パウロはゆるそうとしない精神が礼拝の上になどな致命的な影響を与えるかを良く知っていた。ある老クリスチャンはつねに言っていた。恨みの心を自分の心の中で殺してしまふ最善の方法は、その恨みの相手である人のために祈り、その祈りを続けて、恨みが消え去るまで祈ることである。と、ちよつとした誤解が私恨にまで発展し、それがわれわれの礼拝の上に毒気として作用し、われわれの神のための証言を妨げる。そうしたことのないよう、よく注意しなければならない。
(礼拝 ギブス著)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一五年九月六日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「召しにふさわしく歩む」

「さて、主の囚人である私はあなたがたに勧めます。召されたあなたがたは、その召しにふさわしく歩みなさい。」(エペソ四ノ二)

祈り 神様、九月の最初の礼拝をできことを嬉しく思います。

しかし、今日学ぶエペソの近くの海岸でシリヤ難民の船が転覆して三歳の男の子の死体を警備員が抱いている写真が世界に報道されました。そして怒涛のごとく難民が受け入れられるドイツやオーストリアへ向かって殺到しているのです。日本は暴力団と政党が分裂騒ぎをしています。オリンピックは新国立競技場建設の白紙撤回に続いて、シンボルマークも模作の疑いで撤回になりました。安保法制は憲法違反であるのに、白を黒と違って可決を強行しようとしています。教会が神の栄光を世に向けて発信するようにさせてください。そして、全世界の民が主イエスの元で一つになり、互いに愛し合うことができる世界が一日でも早く訪れるようにしてください。

アブラハムはカルデヤのウルという月神を拜んでいる土地で神は心の耳にはっきりと語りかけてくださいました。家の子弟を党を引き連れて神の言葉に信頼して故郷を離れて、神の示す地へ出て行きました

パウロはエペソの教会に初めに教会の中におられるキリストの満ち溢れる豊かさに満ち溢れていることを語った後、信仰の実践面を語りました。召されたことに安住しないで、召しに相応しく、アブラハムのように従順に従たがうことが大切です。それは教会という共同体の中で実行するのです。個人的に従うが、教会には従わないのは召しに相応しく歩んではいけません。神様

は教会を通して召しの声をかけておられます。教会はキリストの体であり、私たちは体のそれぞれの器官です。調和して健全を維持します。私の心と行動により、キリストが崇められたり蔑められたりします。具体的に自分の事だけでなく、人のことを思いやり、祈りと共に実践しなければなりません。第二に信仰は個人プレーでなく団体プレーです。喜ぶものと共に喜び、悲しむものと共に悲しむのです。第三は教会は預言者と使徒という土台に建てられ、キリストが礎石です。すなわち七〇年の涙と汗によって教会は建てられました。全ての信者の教会です。第四は神様が世に対してどのように見られるかは教会の姿を通して評価されます。ゆえに自分の言動を慎むようにしなければなりません。第五は教会が世に雷同せず、聖霊と喜びに満たされ、きよめられた生活をしていたなら、世の人々は不思議に思いつて興味を持って近づいてきます。第六はイエス様を心に満たすなら、ちよどぶどう酒を飲んで楽しくなるように聖霊に満たされる喜びは、清い愛と慰めを人々に分け与えることができます。

二〇一五年九月九日午後七時 祈禱会 山本牧師

「主の栄光のリバイバル」

「すると、イスラエルの神の栄光が東のほうから現れた。その音は大水のとどろきのようであって、地はその栄光で輝いた。」(エゼキエル四三ノ二)

台風一八号が東海から日本海に通過し、西北から黒い雲がこちらに向かっていました。神の栄光はそれ以上の圧倒的な光景でした。雲が神殿に満ち、祭司は立つことができませんでした(一列八ノ一一)。エゼキエルは先に去ってしまわれた神の栄光が東の門に帰って来られたのを見ました。これは使徒二のペンテコステの預言です。かつて私たちの教会を満たしていた聖霊が

回復してください、イエスをあかしすることを喜び、心をきよめられるよう祈りましょう。さらに具体的に人々を導くために犠牲を払いましょう。